

近畿建設リサイクル表彰	会長賞
受賞者	和歌山県
所在地	和歌山県 和歌山市 小松原通 1-1
受賞テーマ	平成23年台風12号により発生した流木の有効活用

**【取組概要】**

- ・ 海岸, 河川, ダムに漂着・堆積した大量の流木を、一般の事業者や個人に無償で提供することにより、資源の有効活用を図った。
- ・ 速やかに流木の有効活用を図るため、庁内に関係部局の担当者による検討の場を設け、関係法令に係る流木の取り扱いについて議論し、有価物として一般の事業者や個人への提供を実現する仕組みを構築した。
- ・ 流木の引き渡しにあたり、募集要領等の情報を県のホームページを通して広く情報発信し、また、引き渡し後の不法投棄等を防ぐため、法令遵守の誓約を引き渡し条件とするなど、公平かつ適正な処理を実現した。
- ・ 申込、受付手続きの迅速化のため、様式等を統一し、また、引き渡しの混乱を避けるため、事業者と個人を分別するなど、実務で配慮すべきポイントをおさえて実施した。
- ・ 今回の台風12号により漂着・堆積した流木量は推計で約18,600t、そのうち再利用が可能と考えられた流木量は、全体の3割程度にあたる約5,200tと推計され、平成25年2月末現在で、約3,200tの再利用化を実現している。

**【評価のポイント】**

- ・ 災害等により大量に発生した流木の有効活用事例としては、同様の取り組みは全国でも類を見ない取り組みであることから、先進的な取り組みとして評価できる。



流木の漂着・堆積状況(河川)



引き渡し場所の仮置き状況